【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2003-125381(P2003-125381A)
【公開日】平成15年4月25日(2003.4.25)
【出願番号】特願2002-192097(P2002-192097)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　 7/173
　Ｇ０６Ｆ　17/60
　Ｈ０４Ｎ　 7/20
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　 7/173　 ６４０Ａ
　Ｇ０６Ｆ　17/60　 ３２６
　Ｇ０６Ｆ　17/60　 ３３２
　Ｈ０４Ｎ　 7/20　 ６３０

【手続補正書】
【提出日】平成17年6月22日(2005.6.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　Ａ）情報配信装置から、ユーザ特性情報読み出し指令を含むコンテンツデータを送信し、
　Ｂ）ユーザ端末は、受信したコンテンツデータに前記ユーザー情報読み出し指令が含まれている場合には、記憶されているユーザ特性情報を指定先に出力し、この出力履歴を前記コンテンツデータの送信元特定情報とともに使用履歴として記録し、
　Ｃ）課金サーバはこの使用履歴を読み出して、送信元特定情報で特定される情報配信元に課金すること、
　を特徴とする情報利用料課金方法。
【請求項２】
　請求項１の情報利用料課金方法において、
　前記指定先は、前記ユーザ端末内の処理プログラムであること、
　を特徴とするもの。
【請求項３】
　請求項２の情報利用料課金方法において、
　前記処理プログラムは、前記コンテンツデータに含まれて送信されること、
　を特徴とするもの。
【請求項４】
　請求項２の情報利用料課金方法において、
　前記処理プログラムは、前記ユーザ端末に予め記録されていること、
　を特徴とするもの。
【請求項５】
　請求項２～４のいずれかの情報利用料課金方法において、
　前記ユーザ特性情報を用いて、ユーザ端末に接続された制御対象機器を制御すること、
　を特徴とするもの。

【請求項６】
請求項２～４のいずれかの情報利用料課金方法において、
前記ユーザ特性情報を用いて、ユーザ知覚データを出力すること、
を特徴とするもの。
【請求項７】
請求項１の情報利用料課金方法において、
前記ユーザ特性情報を当該ユーザ端末外に出力すること、
を特徴とするもの。
【請求項８】
請求項７の情報利用料課金方法において、
前記ユーザ特性情報の出力先は、前記情報配信装置であること、
を特徴とするもの。
【請求項９】
請求項７の情報利用料課金方法において、
前記ユーザ特性情報の出力先は、前記ユーザ端末に接続された制御対象機器であること、
を特徴とするもの。
【請求項１０】
請求項１，請求項２，または請求項７の情報利用料課金方法において、
前記ユーザ特性情報を出力するか否かを決定するための許可テーブルを有すること、
を特徴とするもの。
【請求項１１】
請求項１０の情報利用料課金方法において、
前記許可テーブルは、ユーザによって修正可能であること、
を特徴とするもの。
【請求項１２】
請求項１１の情報利用料課金方法において、
前記情報配信元の信頼度をユーザに提示すること、
を特徴とするもの。
【請求項１３】
請求項１２の情報利用料課金方法において、
前記各情報配信元の信頼度は情報配信装置によって予め決定されること、
を特徴とするもの。
【請求項１４】
請求項１０の情報利用料課金方法において、
前記許可テーブルは、各情報配信元に関する信頼度に基づき、自動生成されること、
を特徴とするもの。
【請求項１５】
請求項１，請求項２，または請求項７の情報利用料課金方法において、
前記ユーザ端末は、前記ユーザ特性情報を出力するか否かを決定する許可リストを記憶しており、当該ユーザ特性情報読み出し指令を配信した情報配信装置が、かかる許可リストに存在するか否か判断し、存在する場合には、前記ユーザ特性情報を出力すること、
を特徴とするもの。
【請求項１６】
情報配信装置から、ユーザ特性情報読み出し指令を含むコンテンツデータを受信すると、記憶されているユーザ特性情報を指定先に出力し、この出力履歴を前記コンテンツデータの送信元特定情報とともに使用履歴として記録し、課金サーバに使用履歴を送信すること、
を特徴とする情報利用料課金ユーザ端末。
【請求項１７】

情報配信装置から、ユーザ特性情報読み出し指令を含むコンテンツデータを受信すると、記憶されているユーザ特性情報を指定先に出力し、この出力履歴を前記コンテンツデータの送信元特定情報とともに使用履歴として記録すること、
を特徴とする情報利用料課金ユーザ端末。
【請求項１８】
請求項１６または請求項１７の情報利用料課金ユーザ端末において、
前記ユーザ特性情報を出力するか否かを決定する許可リストを記憶しており、当該ユーザ特性情報読み出し指令を配信した情報配信装置が、かかる許可リストに存在するか否か判断し、存在する場合には、前記ユーザ特性情報を出力すること、
を特徴とするもの。
【請求項１９】
請求項１６または請求項１７の情報利用料課金ユーザ端末において、
前記情報利用料課金ユーザ端末は、セットトップボックスであり、
情報配信装置は放送局であり、
前記コンテンツデータはデータ放送にて用いられるコンテンツ記述言語のデータ形式で記述されていること、
を特徴とするもの。
【請求項２０】
請求項１６または請求項１７の情報利用料課金ユーザ端末において、
前記コンテンツデータに、
1)画像切り換え処理プログラムが含まれている場合には、前記ユーザ特性情報を用いて、表示データを出力し、
2)通信路を介して接続されたコンテンツサーバへ前記ユーザ特性情報を出力する命令が含まれている場合には、当該コンテンツサーバへ前記ユーザ特性情報を出力すること、
を特徴とするもの。
【請求項２１】
ユーザ特性情報の利用料をコンテンツデータ提供者に課金する課金サーバであって、
コンテンツデータ提供者から供給されたコンテンツデータに含まれていたユーザー情報読み出し指令に基づいて、記憶されているユーザ特性情報を指定先に出力した使用履歴であって、当該コンテンツデータの送信元特定情報が付加された使用履歴を、各ユーザ端末から読み出して、前記送信元特定情報で特定されるコンテンツデータ提供者に課金すること、
を特徴とする課金サーバ。
【請求項２２】
ユーザ特性情報の利用料をコンテンツデータ提供者に課金する情報利用料課金方法であって、
コンテンツデータ提供者から供給されたコンテンツデータに含まれていたユーザー情報読み出し指令に基づいて、記憶されているユーザ特性情報を指定先に出力した使用履歴であって、当該コンテンツデータの送信元特定情報が付加された使用履歴を、各ユーザ端末から読み出して、前記送信元特定情報で特定されるコンテンツデータ提供者に課金すること、
を特徴とする情報利用料課金方法。
【請求項２３】
情報配信装置から、ユーザ特性情報読み出し指令を含むコンテンツデータを受信すると、記憶されているユーザ特性情報を指定先に出力し、この出力履歴を前記コンテンツデータの送信元特定情報とともに使用履歴として記録し、課金サーバに使用履歴を送信すること、
を特徴とするコンテンツデータ受信方法。
【請求項２４】
情報配信装置から、ユーザ特性情報読み出し指令を含むコンテンツデータを受信すると

、記憶されているユーザ特性情報を指定先に出力し、この出力履歴を前記コンテンツデータの送信元特定情報とともに使用履歴として記録すること、
を特徴とするコンテンツデータ受信方法。
【請求項２５】
読み出し指令配信元からユーザ特性情報読み出し指令を受信すると、ユーザ特性情報を読み出すとともに、この読み出し履歴を前記コンテンツデータの送信元特定情報とともにユーザ特性情報使用履歴として記録し、この使用履歴を読み出して、送信元特定情報で特定される配信元に課金すること、
を特徴とする情報利用料課金方法。